「南高スタイル」

「自由」「規律」「友情」

令和5年 8月30日
弘前南高校
1年次通信 No.5

「返事」はコミュニケーション

10年以上も前のことです。当時勤務していた学校の野球部内でちょっとした問題がありました。

野球部の練習中、全体に対し監督である私が「おーい、斎藤に、ここに来るように伝えてくれ」と言ったことがありました。誰に伝えたわけではなく、部員全員に伝えたつもりでしたが、誰も返事しませんでした。「ん？無視？これはおかしいぞ」と思い、近くにいる選手になぜ返事をしないのかたずねると、びっくりした顔でこう言われました。「自分の名前を言われていないので、自分に言ったとは思わなかったです」

確かに名前は言わなかったけど、監督が言ったことには何らかの反応をするべきではないかと思ったので、「じゃあ、これから監督が言うときは、一回一回全員の名前を、1人ずつ言ってから発言すればいい？」と聞いたら、「いいえ。そうじゃありません。すいません。」と答えたが…

例えば監督が「おーい、斎藤いる？」と呼びかけたとき、近くにいる選手が「斎藤！監督呼んでるぞ！」とか「斎藤さん！監督が呼んでます！」と素早く反応してくれると助かります。また、全体に対する指示は名前を言わなくても全体に呼びかけているのだから、聞こえているのであれば、返事をするべきではないでしょうか。「僕は斎藤じゃないから無反応で良い」という野球部だと思うと、そんな野球部の未来像を想像するだけで悲しい気持ちになります。なぜならグランドでは大きな声と反応、素早い動作が「野球におけるコミュニーション」だと考えていたからです。

目が合っているときにはうなずいたり、呼びかけに対して返事をするなど反応してくれると、こちらとしてはとても気持ちがいいし、良い人物として印象に残るものです。これは監督と選手の関係だけにとどまらず、さまざまな場面で通用する大事なコミュニケーションではないかと思っています。10年後、20年後、社会の一員として良好な人間関係を育みながらたくましく生き抜いていくうえでも、返事をしないよりは返事をした方が良いし、無反応よりは反応した方がより良い人間関係を築いていけるのではないでしょうか。1年生の皆さんはどのように感じますか？

「4大大会2023 in 南高」

6月30日に行われた「校内体育大会」を皮切りにスタートした「4大大会2023 in 南高」も残すところ「大運動会」のみとなった。これまで「校内体育大会」「クラスステージ」「校内装飾大会」の3つの大会が行われた。現在までの順位を振り返り、総合順位を確認してみよう。

まず「校内体育大会は」前回の年次通信でも述べたように、11HR と12HR が担任を巻き込んで最終種目までもつれる激戦を演じ、両者優勝という結果に終わる。1位11HR・12HR、3位13HR、4位14HR、5位15HR。

続いて南高祭最終日を大いに盛り上げた「クラスステージ」。1年生にとっては初めてのダンス発表会になるが、市民会館を埋め尽くす観衆を前に物怖じせず、堂々とダンスパフォーマンスを披露した。また、昼にはハーフタイムショーとしてお笑い芸人ロッチがサプライズ出演し、さらなる盛り上がりを見せた。結果は14HRが念願の優勝。以下の順位は2位11HR、3位15HR、4位12HR、5位13HRとなっている。

3つ目は南高祭を側面から支え、華麗な装飾で競演した「校内装飾大会」。各クラス文化祭を盛り上げようと知恵を絞り、それぞれが与えられた空間を見事に演出した。審査は恭一審査委員長を中心に各担任が審査員を務めることとなった。装飾はどのクラスも工夫に工夫を重ね、甲乙つけがたい素晴らしい作品であったため、どの担任も「自分のクラスが一番、いや一番でなければ納得いかない」と譲らず、選考会議は深夜まで議論を重ねることとなった。これ以上時間をかけては担任同士の不仲に発展しかねないと判断した恭一審査委員長は、午前3：00ついに決断。「ここは、わしの判断にまかせてくれんかのお～・・・」静まりかえった会議室。審査委員長が仙人のように優しくささやいた言葉が重く響く。一触即発状態だった担任も我に返り、静かにうなずくだけであった。ということで、恭一審査委員長の個人的な美的感覚によって、校内装飾は以下のように順位が決定した。1位15HR、2位13HR、3位14HR、4位12HR、5位11HR。

現在までの総合順位は上記のように11HRが単独首位に立っている。しかし、どのチームも優勝の可能性が残っている団子状態ならぬ混戦状態。9月14日「大運動会」の結果が直接総合順位に影響する。勝利のポイントは配点の大きい団体種目をいかに勝つことができるか。まだ種目別優勝がない最下位の13HRが奇跡の逆転総合優勝の可能性もある。カナコTの雄叫びが炸裂するのか、まさに当日は運命の決戦となる。「4大大会2023 in 南高」の優勝カップを手にするのは一体どこのHRなのでしょうか。頑張れ！61回生！

総合順位

1位	11HR	13P
2位	14HR	12P
3位	12HR	11P
〃	15HR	〃
5位	13HR	10P

運動会獲得ポイント

1位	7P	4位	2P
2位	5P	5位	1P
3位	3P		

1年次通信は弘前南高校 HP でも閲覧できます。
http://www.hirosakiminami-h.asn.ed.jp/